



自民党

第33代・第34代環境大臣



あさお 慶一郎

何度でも
チャンスのある社会を

今月の提言

謹賀新年

明けましておめでとうございます。丙午の年明けです。丙午は情熱や変化を象徴する年です。太陽の様な明るさと決断力、健康・豊作・発展等を象徴する年とされています。本年がそのようなように期待しましょう。思い出するのは30年前の元旦です。政治への情熱を心に秘め銀行を辞め、政治の世界に飛び込みました。政治家として初めて迎えた新年でした。あれから30年、私は政治家として日本にどれだけの貢献が出来たのでしょうか。初心に帰り、改めて考えてみました。



購買力平価でぎりぎり及第点

1995年、日本の一人当たりのGDPは44,000ドル前後でした。30年後の今日(2024年)、その数字は33,785ドルまで下がりました。つまり、私が政治の世界に入ってから30年間で、名目値では、一人当たりGDPが3/4になってしまった計算です。もっとも購買力平価で比較すればこの数字も少し変わります。1995年が35,000ドルから40,000ドルの間、2024年には46,000ドルとなるからで、その意味では少し豊かになったと考えることもできます。政治家の中には、この一事を以て「ギリギリ及第点」とする声もありますが、私はそうは思いません。貨幣価値だけで人間の豊かさを計ることはできませんが、日本の一人当たりGDPを国際比較することで、私を含め政治はより厳しい評価を受けるべきでしょう。1995年に世界第6位で一人当たりのGDPの順位は、2024年にはとう

とう世界第38位にまで下がってしまっているのですから。

日本発で世界中の人が求めるものを！

なぜ、日本人は豊かさを失ってしまったのでしょうか。購買力平価で、一人当たりのGDPが増えているのは物価が下落したからです。名目GDPが下がり、国際社会での順位が下がっているのは、潜在成長率が長らく低位で推移

しているからです。世界の人々が求める製品やサービスを日本発で生み出すことができなかった結果でしょう。30年前はインターネットもまだ黎明期。スマホは存在しませんでした。しかし、ネットを通じた製品やサービスの提供はいまでは世界にいきわたり、消費者は当たり前のメリットを享受しています。日本として悔やまれる問題です。

人工光合成の予算獲得はその一歩

政治家としての責務とは何でしょうか。私は、やはりイノベーションだと思えます。世の中にまだ存在しない何かを生み出せる国に、日本はもう一度ならなければなりません。そのために私が推進するのは人工光合成プロジェクトです。私は、来年度の予算に人工光合成の社会実装への費用を盛り込みました。これが日本の曙光となることを、元旦に願います。

第33代・第34代環境大臣 浅尾 慶一郎

誰にでも何度でもチャンスのある社会を。

あさお慶一郎のプロフィール

昭和39年2月11日生まれ
栄光学園高校、東京大学法学部卒業
日本興業銀行出身、証券アナリスト
米スタンフォード大学
経営大学院 (MBA) 修了

平成10年 参議院議員選挙初当選
平成16年 参議院議員選挙当選 (2期目)
平成21年 衆議院議員選挙初当選
平成24年 衆議院議員選挙当選 (2期目)
平成26年 衆議院議員選挙当選 (3期目)
令和4年 参議院議員選挙当選 (3期目)

浅尾慶一郎
事務所

鎌倉事務所

〒247-0056 鎌倉市大船1-23-11 松岡ビル5階
TEL.0467-47-5682 FAX.0467-47-5626
info@asao.net

Website
asao.netFacebook
facebook.com/
keiichiroASAO

X

twitter.com/
asao_keiichiro

YouTube

youtube.com/
user/
asaokeiichiro紙 | 責任ある森林
管理を支えています

FSC® C190963



特別インタビュー

2026年干支「午」デザインに込めた想い — 鎌倉彫・三橋 鎌幽 氏

2026年は強烈なエネルギーを持つ「丙午」。毎年好評のあさお慶一郎賛助会員様向けピンバッジ、今回は鎌倉彫の三橋鎌幽氏に依頼しました。作品に込めた祈りと意図を伺いました。

静かに燃える意志、チェスの「ナイト」

「丙」も「午」もどちらも火の性質を持つことから、この「火の年」を、単なる激しさではなく、「灯し続ける力」「静かに燃える意志」として肯定的に捉えました。破壊にも再生にもなりうる火の力をどう活かすか。そこがデザインの起点です。

モチーフの軸には、チェスの「ナイト(馬)」を選びました。正面突破ではなく、戦局を静かに、しかし確実に変えていく存在。その姿に、混迷の時代を生き抜く「しなやかな強さ」を重ねています。

赤と青、対極の色彩が宿す物語

今回は彫刻ではなくデザインとしての関わりでしたが、そこに工芸家としての誠意と、時間への敬意を込めました。特に苦心したのは、小さな面積の中に「躍動」を封じ込めること。たてがみの曲線で、火が立ち上がるような勢いを表現しています。

色彩にも深い物語があります。馬の「赤」は鎌倉彫に用いる伝統的な朱漆を、波の「青」は私が追求し続けてきた静謐な「Kenjublu (ケンユウブルー)」を象徴させました。火の赤と鎮めの青、馬と波。この両極を共に宿すことで、単なる縁起物を超えた「内なる強さと静けさ」を持つ造形をめざしました。

「問い」を持つお守りとして

このピンバッジは、単なる装飾ではなく「問いを持った造形」です。忙しい日々の中で、ふと胸元や手元でこのバッジ

に触れたとき「今日は、火を消さずにいられたか？」という小さな対話が生まれること。持ち主の方だけが知る「自分との約束」を思い出す場所になること…そうした願いを込めました。

鎌倉彫、変わらないために変わり続ける

800年前、禅宗寺院の仏具づくりから始まった鎌倉彫は「祈りを形にする」静かなる美の工芸です。現代における鎌倉彫の魅力は、「変わらないために、変わり続ける姿勢」にあると私は考えています。どんなに表現が進化しても、そこには鎌倉という土地の光や風、記憶が宿っています。伝統とは過去の様式ではなく、今の暮らしと交差する生きた美意識であると、地域の皆さまにお伝えしたいです。

あさお慶一郎へのメッセージ

あさおさんの活動にある「現場の声に向き合う誠実さ」は、工芸の世界で私たちが「素材の声」に耳を澄ますことと響き合います。このピンバッジが、あさおさんの活動の中で静かに「灯る存在」となれば幸いです。

三橋 鎌幽 Profile

鎌倉時代より続く仏師の血筋と鎌倉彫800年の技を継承。建長寺で禅を学び、「鎌幽」を吉田正道老師より拝銘。仏具制作を軸に、パリでの個展開催などアート作品も世界へ発信。伝統と現代性を融合し国内外で活躍している。



あさお慶一郎をご支援ください

特別賛助会員募集

「あさお慶一郎君を応援する会」では、あさお慶一郎の政治活動を支援する一助として『特別賛助会員』(5,000円/年)*の募集を

行っております。ご入会の方に、鎌倉彫の伝統継承者 三橋 鎌幽氏がデザインした『2026年干支「午」』のオリジナルピンバッジをお渡しします。

*後援会組織「あさお会」は無料。年会費はありません。



「成田山初詣バスツアー」のご案内

恒例!

日時 令和8年1月26日(月) **定員** 最大 90名
申込締切 1/15(木)または定員になり次第、締切りとさせていただきます。
※1/19(月)以降のキャンセルにつきましてはキャンセル料が発生します。予めご了承ください。

行き先 成田山新勝寺(初詣) ⇒ ヒルトン成田(昼食)
⇒ 渡邊いちご園(絶品いちご狩り)
⇒ 房総四季の蔵(地元産品多数!お土産など) ⇒ 帰路

参加費
13,500円
(税込)

参加ご希望の方は、あさお慶一郎事務所 TEL.0467-47-5682 まで

【共同企画】あさお会・江ノ新旅行サービス 【旅行企画・実施】江ノ新旅行サービス

お申込み記入欄

お申込みは FAX. 0467-47-5626 か asao.net のご意見・お問合せフォームへ

お申込みをされる項目に✓をしてください	フリガナ	電話番号
<input type="checkbox"/> 特別賛助会員	お名前	E-mail
<input type="checkbox"/> ポスターの掲示ご協力 *自宅の壁・フェンス等に掲示可能な方はお知らせください	〒	
<input type="checkbox"/> 自民党入党希望	ご住所	

各種入会・詳細に関しましては、「浅尾慶一郎事務所」ホームページ「<https://asao.net/>」又は TEL. 0467-47-5682 までご連絡ください。